

未来ビジネス2024-2033 全産業編



- 監修・著者：平林知高 (EYストラテジー・アンド・コンサルティング)
- 著者 (代表)：山田悠生 (EYストラテジー・アンド・コンサルティング)
- 2024年2月29日発行
- レポート：A4判、356ページ
- 価格
 - 書籍とオンラインサービスのセット：990,000円 (10%税込)
 - 書籍のみ：660,000円 (10%税込)
- 発行：日経BP

**新事業企画に役立つ
厳選30のビジネスアイデア。
生活者の行動や価値観の
メガシフトを分析し、10年後の
新ビジネスを描き出す。**

変化が激しく不確実性の高いVUCA (変動性、不確実性、複雑性、曖昧性) の時代。10年後に向けた新しいビジネス、すなわち「未来ビジネス」を見通すためには、社会を取り巻く大きなトレンドと、様々なところで芽吹いている未来を探索することが欠かせません。本レポートでは、世界で個人の影響力が増していることに着目し、生活者の行動や価値観の変化を探索の起点としました。様々な領域で境界が曖昧になる「ノーバウンダリーシフト」、自分なりの幸福を目指す傾向が強まる「セルフシフト」、他者の概念や関係性をこれまで以上に柔軟に捉える「リレーションシフト」、環境や社会とのつながりを強く意識し持続可能性を重視する「サステナブルシフト」の4大メガシフトをベースに、10年後のビジネスの基本テーマとなる「リ・ジェネレーション」の概念を提示します。これに独自の生活者調査を交えた分析で、30の未来ビジネスを厳選。それぞれの未来ビジネスのアイデアを「新規性」「市場性」「社会的インパクト」「技術的革新性」の4項目で評価し、「10年後の未来像」と「社会背景」とともに提示します。また、社会に広く影響を与える「人間中心の先端テクノロジー」を7領域に分類し、「生成AI」「自動運転」「メタバース」「ブロックチェーン」などの16技術の可能性を探ります。さらに、未来ビジネスの影響を「自動車/モビリティ」「IT/通信」「医療/福祉」など10の産業別に分析。今後の10年で新たに生まれるビジネスの方向性を提示する、未来ビジネスの決定版レポートです。